

# 日本工業新聞

川崎は一九四五  
年七月十九日、弟  
と妹がいる三人き  
ょうだいの長男と  
して熊本市で生ま  
れた。父の灘雄  
(たつお)は金属  
学を修めた工学博

## 工学博士への道

眺めると、電車が小さく見え  
る。

決意から十年、嚴父を越えた

齒車博士

開発部門 川崎は「読書百遍意自ずか  
の研究、実 ら通ず」とばかりに、難解な  
験に三年間 『転位歯車』（中田孝著）を 究科  
精鑽した

自重車技術研究部長  
学博士、技術士

川崎は一九四五  
年七月十九日、弟  
と妹がいる三人ぎ  
ょうだいの長男と  
して熊本市で生ま  
れた。父の灘雄  
(たつお)は金属  
学を修めた工学博

# 工学博士への道

眺めると、電車が小さく見え  
る。

## 平成の名匠

最先端の技術者・研究者たち

229

# 川崎 芳樹さん ② (いすゞ自動車)

父にそそのかされた幼稚園は、そばまで行って確かめる  
ことにした。  
「わあ、大きい」  
不思議だなあ、と思う。  
でも、父は答えを口にしない。  
現象を見せる。それから先は、まず自分で考えなさい、というわけだ。  
「私にとっての父は、最も尊敬する人物であると同時に、父を越えることが目標でもありました」  
川崎は、県立熊本高校を経て六九年三月、早稲田大学理工学部を卒業。いすゞ自動車に入社した。

かかわったあと、生産技術部の工具  
課へ。そこでの解説論文が認められ、  
海外講演をしたほど。

三十歳のとき、工場長、小西帝一  
務故人は「歯科」という。

「小西工場長のつたら、いまの私  
し、歯車についてくれません。な  
をつかむまでに一  
それから現場に飛  
た」

当時の川崎  
（のちの専  
車をやれ）

それこそ、博士から取りのりがわが権威、三に接つたその九五と抜生と

（百三）専門への  
取得まで  
がある。  
が国にお  
京都大  
学したの  
うだ。  
年十月  
こして京

遍以上三  
大大学  
がきつ  
ける歯  
学教授  
挑戦を  
、ほぼ

読んで  
決意し  
十年の  
車工学  
の久保  
かけに  
人特別  
院工学

研選 な愛の道でい  
門外長(一)い長(一)とでい

通常は、最短でもいわれてもかく一年で修了してしまつて、一といふ外漢の相手を両立

博士修も三年かるだけにかわらじよい会社を得をめつ。

従事するかに  
難しさを申さ

超えは、発部ンボ訳。崎い。訳な延は。

A medium shot of a man in a blue work uniform and a white hard hat with a red logo. He is wearing glasses and holding a large, metallic gear with both hands, examining it closely. The background shows an industrial environment with various machinery and equipment, including pipes and a sign that partially reads "FIB". The lighting is somewhat dim, typical of an indoor workshop or factory.